

平成23年度 指定管理者施設管理評価シート

部 文化産業観光部 課 文化振興課

施設名称	〔4〕 東京都台東区立下町風俗資料館					
指定管理者の名称	公益財団法人台東区芸術文化財団			指定期間	H22. 4. 1 ~ H27. 3. 31	
1. 指定管理者の概要						
(1) 業務内容	芸術文化、区民文化、スポーツ文化に関する事業の実施 芸術・文化・スポーツ施設の管理運営					
(2) 類似施設の管理実績	文化施設 5 箇所					
(3) 経営状況	22年度決算 歳入 804,726,858円 歳出 762,325,465円 収支差額 42,401,393円 (区返納金22,401,393円次期繰越金 20,000,000円)					
2. 施設の概要						
(1) 所在地	台東区上野公園 2 - 1					
(2) 設置目的	台東区の特長である下町文化の保存、育成、調査研究等を行い、区民文化の振興を図る。					
(3) 利用者	区民ほか					
(4) 開館日・時間	開館日：休館日（月曜日／年末年始／特別整理期間等）を除く 開館時間：午前 9 時 3 0 分～午後 4 時 3 0 分（入館は午後 4 時まで）					
(5) 規模	延べ床面積1,071.16㎡ RC造 地上3階地下1階建 搭屋 収蔵庫、荷解作業室、燻蒸室、更衣室、機械室、身障者用便所、展示室、休憩室、事務室、エントランスルーム、図書室、写真室、暗室、エレベータ機械室など					
(6) 人員体制	13名 常勤固有職員（1）派遣職員（1）再任用（2）区政嘱託員（1） 研究員（2）主任専門員（1）特例嘱託員（5）					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1) 委託事業	下町の歴史、芸術、風俗、産業等に関する実物、標本、模型、文献などの資料の収集、保管、及び展示。施設、付帯設備及び物品の保全・調整、施設内の清潔整頓、その他環境整備などの事業。施設使用料徴収などの事業。					
(2) 自主事業	施設特別展・企画展 芸術・技術実演会／定期実演会、大紙芝居大会、伝統工芸実演会、正月実演会					
4. 予算決算の推移						
		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
予算	委託料	18,515,000	20,015,000	19,258,000	19,258,000	19,719,000
	料金収入等	0	0	0	0	0
	管理経費	18,515,000	20,015,000	19,258,000	19,258,000	19,719,000
決算	委託料	15,989,499	17,552,983	18,136,914	17,869,853	16,806,045
	料金収入等	0	0	0	0	0
	管理経費	15,989,499	17,552,983	18,136,914	17,869,853	16,806,045
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称		単位	19年度	20年度	21年度	22年度
開館日数		日	302	302	301	302
特別展・企画展実施数		回	2	2	2	2
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値 (24年度)	20年度	21年度	22年度
入館者数		人	68,000	60,785	62,423	67,079

7. 平成22年度評価結果に対する現在までの取組み

外国人の入館者数が多いという特性を活かし、魅力ある企画展や実演会を実施した。また、英文図録やクリアファイルを作成するなど、工夫を凝らしたグッズ類を販売し、入館者数の増加や利用者のサービス向上に努めた。

8. 評価項目 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.3]	(a) 施設の目的達成	[2]	(f) 開館時間等の遵守	[3]
	(b) サービス水準	[3]	(g) 自主事業の成果	[3]
	(c) 職員配置	[2]	(h) 個人情報保護	[2]
	(d) 職員研修	[2]	(i) 緊急時対応マニュアル	[2]
	(e) 案内・接遇	[2]	(j) 警備・防犯体制	[2]
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検	[2]	(e) 危険箇所等の確認	[2]
	(b) 備品の管理	[2]	(f) 管理記録の作成・保存	[2]
	(c) 清掃・衛生管理	[2]	(g) 業務委託の事前承認	[2]
	(d) 施設の修繕	[2]	(h) 省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3) 利用者の満足度 平均 [2.6]	(a) 利用者・第三者機関の評価	[3]	(d) 利用しやすい環境整備	[2]
	(b) 苦情・要望への対応と報告	[2]	(e) 関係団体・地域との関わり	[3]
	(c) 利用者数の目標達成	[3]		
(4) 歳入歳出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行	[2]	(c) 収支計画の達成	[2]
	(b) 経費削減のための取組み	[2]	(d) 利用料等の徴収・管理	[2]

9. 評価

S（水準以上）： 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）： 協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）： 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）： 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）： 協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1) 事業の運営	S	魅力ある特別展等の実施や定期実演会として「こども土曜塾」、印象彫刻、花緒作りなどを開催した。また、5月の連休には大紙芝居大会を開催するなど、実施内容や方法に工夫を講じ、前年度の入館者数を上回った。
(2) 施設の維持管理	A	施設や設備については、常に区と連絡を取りながら適切な修繕や補修を行い、施設の管理・保全に努めている。
(3) 利用者の満足度	S	正月開館や夏季の開館時間延長の実施など、利用者のサービス向上に努めている。また、外国人の入館者が多いという特性を活かし、英文図録等の外国人向けグッズの販売や日本半纏の貸出しなど、利用者から高い満足度を得ている。
(4) 歳入歳出	A	予算については効率的な運営に努めており、概ね適切に執行されている。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

良好	開館時間延長の努力や外国人を含めた利用者へのサービス向上など、趣向を凝らした事業展開により、入館者数が前年度より上回り、良好な施設運営が行われている。
-----------	---

11. 平成23年度評価結果に対する今後の対応

区立文化施設の中で外国人も含め最も来館者が多い施設である。施設の適切な管理・保全を行うとともに、魅力ある実演会等の実施や利用者のサービス向上、積極的なPRに取り組んでいく。